

科目名	対象学科・学年	担当者
法学	教育教職 2 回生	氏木 義明
授業テーマ 法学の基礎知識の習得する。		
授業の概要と目標 主権者として国民が法をまなび法を自ら問題として捉え考える必要がある。その意味で基本的に「法とは何か」また習俗、宗教、道徳等とどこが違うのかに触れ、現代における様々な法の体系を学習する。現代のわが国に生じる法の諸問題にも触れ実践学習をすることにより法的意識をもたせる。		
評価方法 出席と試験（レポート）の総合評価		
テキスト なし	著者	出版社
参考書 授業時間に指示する（六法全書は必要）	著者	出版社
授業スケジュール・内容 1・法一般の概念 1・法とは何か 2・法と道徳との関係 1・法と道徳の相違 2・法と道徳の相関関係 3・法と道徳の相互移行関係 4・法と道徳の矛盾する場合 3・法の理念 1・法と政治 2・権利と義務 3・法秩序の構造（成文法と不文法について） 4・法に関する学問分野 1・法解釈学 2・法史学 3・法社会学 4・法哲学 5・日本の裁判制度 1・紛争と裁判 2・裁判所の種類 3・裁判員制度について 6・民法（人の生活関係の法律） 1・基本原理 2・人とは（自然人・法人・外国人） 3・権利能力の開始と終期（権利発生と消滅） 7・財産と人の関係 1・所有権の意義 2・物を利用する権利（占有権） 8・契約（人と人の関係） 1・契約の成立（申し込みと承諾） 2・契約の種類 3・契約の効果 4・契約の解除 5・売主の担保責任（瑕疵担保責任） 9・不法行為の問題 10・家族の関係（婚姻・親子・扶養） 11・相続の問題（相続人・遺産分割）		